英語　　東京工業大学　（前期）　1/2

Ⅰ

Ⅰ－1.

For the sensory evaluation of products, including color investigation, food manufacturers relied primarily on the knowledge and experience of individual experts.

Ⅰ－2.

色票にある隣り合う色の標本のなかには、見た目がとても似ているために、色票のどの名の色が製品の色と一致するかを検査官が特定するのが困難なものもあった

Ⅰ－3.

色の表示をアルファベットだけでなく数字にも基づいて標準化することで、調査官には共通の用語が与えられ、互いにやりとりするのがより効率よくできるようになった

Ⅰ－4.

目視での色の計測は測定ミスや知覚に個人差があって一貫性に欠けるし、保存状態によってはガラスや紙に塗られた標準となるべき色が褪せてしまうこと。(70 字)

Ⅰ－5.

(ア)　B　　(イ)　D　　(ウ)　E　　(エ)　A　　(オ)　C

Ⅰ－6.

①　D　　②　A

Ⅰ－7.

2、3、9

© 河合塾　2023 年

Ⅱ

Ⅱ－1.

アルゴリズムは、それを利用しなければ警察がつかむのに数週間ないしは数か月かかってしまうような犯罪のパターンを見抜くことができるだろう

Ⅱ－2.

What makes identifying these patterns difficult for a computer, on the other hand, is that every offender's MO is unique.

Ⅱ－3.

犯罪分析官が従うと思われる直感を学び、その直感を家宅侵入の大きなデータベースにあてはめて一連の犯行の関連性を見抜くこと。(60 字)

Ⅱ－4.

犯人が場所を変えたのは、それ以前に強盗に入ったときに目撃されたことに（犯人が）反応したことによるものだった

Ⅱ－5.

(a)　C　　(b)　B　　(c)　E　　(d)　B

Ⅱ－6.

1、6

© 河合塾　2023 年